



【父】

五月は寒暖の差が激しく、体調を崩された方がたくさんみえるのではないのでしょうか？今月はいよいよ梅雨に入ります。恵の雨を期待したいものです。

ところで、悲しいことですが最近「訃報」がよく耳に入ってきています。身近で「死」に直面した時、残された人たちは「あの時こうすればよかった」「こんなことしなければよかった」と後悔ばかりしています。

今回は私の父のことを少しお話します。

大正生まれの父は今年九十四歳になりました。私が子どもの頃はいつも仕事で、家族でどこかに行った記憶はほとんどありません。頑固な父と勝負な私はよく衝突もしました。でも私の結婚式では音外れの「娘よ」を歌い、一番泣いていたのも父でした。喫茶店を始めた時に、一番心配したのも父でした。

いくつになっても親は子どもを心配するのだと改めて思います。今では小さな身体がさらに小さくなり、耳も遠くなり、部屋の中だけで過ごすことも多くなりました。そんな父がいつまで元気でいられるかわかりませんが、父の日には一緒にお酒を酌み交わそうと思います。

裏面には【手紙と親愛なる子供たちへ】を掲載しました。いつかは訪れる「老い」を考えた時、この本を思い出しました。皆さんも何かを感じていただけたらと思います。

(恭)

予約席 happy カレンダー 6月

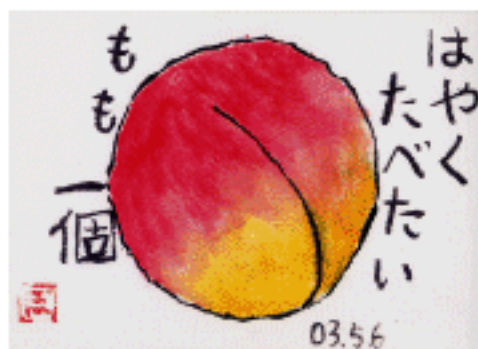
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

赤字の日がお休みになります
緑の字は貸切営業になります

6月 展示予定



MARIKO calligraphy style collection
2010.5.30(sun) - 6.12(sat)



みぼりん絵手紙展
6月13日~6月26日

ウッドスケッチ展 (仮称) 6月27日~7月10日

予約席 開店五周年 企画

くじ引き (空クジなし)

期間 6月13日~19日

景品 予約席Tシャツ
木のおもちゃ
額入りの絵 など

ひとり言

今月は内容盛り山で、スペースが無くなってしまった！
来月をお楽しみに… 誰も楽しみになんかしてませんかね?? (ゆ)

LIVE 情報

Color of Wildflower Special Live

2010.6.6(sun) 15:00 start

2,500yen (1 drink & 手作りお菓子)

mariko / vocal, kayoko / violin, bonzo / guitar

ご来場の方にMARIKOオリジナルぽち袋プレゼント

好評につき公演追加!

Yoyakuseki Presents
5th Anniversary LIVE

2010.6.20 (sun) start 15:00

2010.6.20 (sun) start 19:00

music charge 3,500yen (ドリンク・5周年記念品付)

KEIKO ANDO 安藤 啓子
KOHJI GOTO 後藤 浩二

お問合せ：予約席 (0587) 53-4218

『手紙』

親愛なる子供たちへ

年老いた私が ある日

今までの私と

違っていたとしても

どうかそのままの

私のことを

理解して欲しい

私が服の上に

食べ物を

こぼしても

靴ひもを

結び忘れても

あなたに色んなことを

教えたように

見守って欲しい

あなたと話す時

同じ話を

何度も何度も

繰り返しても

その結末を

どうかさえぎらずに

うなずいて欲しい

あなたにせがまれて

繰り返して読んで

絵本の

あたたかな

結末は

いつも同じでも

私の心を

平和にしてくれた

悲しい事ではないんだ

消え去っていくゆくように

見える私の心へと

励ましのまなざしを

向けて欲しい

楽しいひと時に

私が思わず

下着を濡らして

しまったり

お風呂に入るのを

いやがるときには

思い出して欲しい

あなたを追い回し

何度も着替えさせたり

様々な理由をつけて

いやがるあなたと

お風呂に入った

懐かしい日のことを

悲しい事ではないんだ

旅立ちの前の準備をしている私に

祝福の祈りを

捧げて欲しい

いずれ歯も弱り

飲み込む事さえ

出来なくなるかも知れない

足も衰えて

立ち上がる事すら

出来なくなつたなら

あなたが

か弱い足で立ち上がろうと

私に助けを求めたように

よろめく私に

どうかあなたの手を

握らせて欲しい

私の姿を見て

悲しんだり

じぶんが無力だと

思わないで欲しい

あなたを

抱きしめる力がないのを

しるのはつらい事だけど

わたしを理解して

支えてくれる

心だけを

持っていて欲しい

きつとそれだけで

それだけで

私には

勇気がわいて

くるのです

あなたの人生の始まりに

私がしっかりと

付き添ったように

私の人生の終わりに

少しだけ

付き添って欲しい

あなたが生まれてくれたことで

私が受けた多くの喜びと

あなたに対する変わらぬ愛を持って

笑顔で答えたい

私の子供たちへ

愛する子供たちへ

原作詩………不詳

日本語訳詩………角智織

日本語補足詩………樋口了一

手紙

親愛なる子供たちへ

より後群